

整理番号: 2001

指標群: 循環器系疾患 薬剤

1. 名称: 急性心筋梗塞患者におけるアスピリン投与割合
2. 意義: 治療内容をみるプロセス指標。
3. 必要データセット: DPC 様式1 Fファイル もしくは EFファイル
4. 定義の要約

分子: 分母のうち、アスピリンが投与された症例数

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

5. 指標の定義・算出方法

分母の定義

- I. 解析期間に退院した症例を対象とする。
- II. このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。

資源を最も投入した傷病名と主傷病名の ICD-10 コードが下記である症例

ICD-10 コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

- III. このうち、退院日が入院後 3 日以降である症例。(入院日を 1 とする)。

分子の定義

- I. アスピリンが処方されている症例。

Fファイル、もしくは EFファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

薬価基準コード 上7ケタ	成分名	2010	2012	2014
1143001	アスピリン	○	○	
1143010	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	
3399007	アスピリン	○	○	
3399100	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	

6. リスク調整因子の定義: なし
7. 指標の算出方法: 分子÷分母 (単位: パーセント)
8. 測定上の限界・解釈上の注意:  
アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。
9. 参考値: アメリカにおいては 90%前後。QIP の過去の指標でも 90%前後。
10. 参考資料

Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p.

Acute myocardial infarction: percent of patients who received aspirin within 24 hours before or after hospital arrival. 2010 Apr. NQMC:006060

整理番号: 2002

指標群: 循環器系疾患 薬剤

1. 名称: 急性心筋梗塞患者におけるβブロッカー投与割合
2. 意義: 治療内容をみるプロセス指標。
3. 必要データセット: DPC 様式1 Fファイル もしくは EFファイル
4. 定義の要約

分子:分母のうち、βブロッカーが投与された症例数

分母:急性心筋梗塞で入院した症例数

5. 指標の定義・算出方法

分母の定義

- I. 解析期間に退院した症例を対象とする。
- II. このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。

資源を最も投入した傷病名と主傷病名の ICD-10 コードが下記である症例

ICD-10 コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

- III. このうち、退院日が入院後 3 日以降である症例。(入院日を 1 とする)。

分子の定義

- I. βブロッカーが処方されている症例。

Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

薬価基準コード 上7ケタ	成分名	2010	2012	2014
2123001	アセプトロール塩酸塩	○	○	
2123005	カルテオロール塩酸塩	○	○	
2123008	プロプラノロール塩酸塩	○	○	
2123009	ビンドロロール	○	○	
2123011	アテノロール	○	○	
2123014	アロチノロール塩酸塩	○	○	
2123015	ナドロロール	○	○	
2123016	ビソプロロールフマル酸塩	○	○	
2123402	プロプラノロール塩酸塩	○	○	
2149009	ラベタロール塩酸塩	○	○	
2149010	メプロロール酒石酸塩	○	○	
2149011	ビンドロロール	○	○	
2149014	プロプラノロール塩酸塩	○	○	
2149018	アモスラロール塩酸塩	○	○	
2149021	ニプラジロール	○	○	
2149025	カルテオロール塩酸塩	○	○	
2149028	チリソロール塩酸塩	○	○	
2149029	セリプロロール塩酸塩	○	○	
2149031	ベタキソロール塩酸塩	○	○	
2149032	カルベジロール	○	○	
2149036	ベバントロール塩酸塩	○	○	
2123002	アルプレノロール塩酸塩		○	
2123006	ブフェトロール塩酸塩		○	

年度	2010	2012	2014
定義書対応			

薬価基準コード 上7ケタ	成分名	2010	2012	2014
2123004	オクスプレノロール塩酸塩		○	
2123404	ランジオロール塩酸塩	○	○	
2123405	エスモロール塩酸塩	○	○	

6. リスク調整因子の定義: なし

7. 指標の算出方法: 分子÷分母 (単位: パーセント)

8. 測定上の限界・解釈上の注意:

アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

9. 参考値: QIP の過去の指標では40%前後。参考資料

Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a.  
Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1.  
various p.

Acute myocardial infarction: percent of patients who are prescribed a beta-blocker at  
hospital discharge. 2010 Apr. NQMC:006064

整理番号: 2003

指標群: 循環器系疾患 薬剤

1. 名称: 急性心筋梗塞患者におけるACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤投与割合
2. 意義: 治療内容をみるプロセス指標。
3. 必要データセット: DPC 様式1 Fファイル もしくは EFファイル

## 4. 定義の要約

分子: 分母のうち、ACE 阻害剤 (ACEI) もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤 (ARB) が投与された症例数

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

## 5. 指標の定義・算出方法

分母の定義

- I. 解析期間に退院した症例を対象とする。
- II. このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。

資源を最も投入した傷病名と主傷病名の ICD-10 コードが下記である症例

ICD-10 コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

- III. このうち、退院日が入院後 3 日以降である症例。(入院日を 1 とする)。

分子の定義

- I. ACEI もしくは ARB が処方されている症例。

Fファイル、もしくは EFファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

薬価基準コード 上7ケタ	成分名	2010	2012	2014
2144001	カプトプリル	○	○	
2144002	エナラプリルマレイン酸塩	○	○	
2144003	アラセプリル	○	○	
2144004	デラプリル塩酸塩	○	○	
2144005	シラザプリル水和物	○	○	
2144006	リシノプリル水和物	○	○	
2144007	ベナゼプリル塩酸塩	○	○	
2144008	イミダプリル塩酸塩	○	○	
2144009	テモカプリル塩酸塩	○	○	
2144010	キナプリル塩酸塩	○	○	
2144011	トランドラプリル	○	○	
2144012	ペリンドプリルエルブミン	○	○	
2149039	ロサルタンカリウム	○	○	
2149040	カンデサルタンシレキセチル	○	○	
2149041	バルサルタン	○	○	
2149042	テルミサルタン	○	○	
2149044	オルメサルタンメドキシミル	○	○	
2149046	イルベサルタン	○	○	
2149048	アジルサルタン	○	○	
2149112	バルサルタン・ヒドロクロロチアジド	○	○	
2149110	ロサルタンカリウム・ヒドロクロロ	○	○	

年度	2010	2012	2014
定義書対応			

薬価基準コード 上7ケタ	成分名	2010	2012	2014
	チアジド			
2149111	カンデサルタンシレキセチル・ ヒドロクロチアジド	○	○	
2149116	カンデサルタンシレキセチル・ アムロジピンベシル酸塩	○	○	
2149113	テルミサルタン・ヒドロクロチア ジド	○	○	
2149117	テルミサルタン・アムロジピンベ シル酸塩	○	○	
2149114	バルサルタン・アムロジピンベ シル酸塩	○	○	
2149115	オルメサルタンメドキシミル・ア ゼルニジピン	○	○	
2149118	イルベサルタン・アムロジピン ベシル酸塩	○	○	

6. リスク調整因子の定義: なし

7. 指標の算出方法: 分子÷分母 (単位: パーセント)

8. 測定上の限界・解釈上の注意:

アレルギーや左室機能不全ではないなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

9. 参考値: アメリカにおいては 90%前後。QIP の過去の指標でも 90%前後。

10. 参考資料

Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a.  
Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1.  
various p

整理番号: 2006

指標群: 循環器系疾患 薬剤

1. 名称: 心不全患者におけるβブロッカー投与割合
2. 意義: 治療内容をみるプロセス指標。
3. 必要データセット: DPC 様式1 Fファイル もしくは EFファイル
4. 定義の要約

分子:分母のうち、βブロッカーが投与された症例数

分母:心不全で入院した症例数

5. 指標の定義・算出方法

分母の定義

- I. 解析期間に退院した症例を対象とする。
- II. このうち、心不全の診断を受けた症例。

資源を最も投入した傷病名の ICD-10 コードが下記である症例

ICD-10 コード	病名
I50\$	心不全

- III. このうち、退院日が入院後 3 日以降である症例。(入院日を 1 とする)。

分子の定義

- I. βブロッカーが処方されている症例。

Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

薬価基準コード 上7ケタ	成分名	2010	2012	2014
2123001	アセプトロール塩酸塩	○	○	
2123005	カルテオロール塩酸塩	○	○	
2123008	プロプラノロール塩酸塩	○	○	
2123009	ビンドロロール	○	○	
2123011	アテノロール	○	○	
2123014	アロチノロール塩酸塩	○	○	
2123015	ナドロロール	○	○	
2123016	ビソプロロールフマル酸塩	○	○	
2123402	プロプラノロール塩酸塩	○	○	
2149009	ラベタロール塩酸塩	○	○	
2149010	メプロロール酒石酸塩	○	○	
2149011	ビンドロロール	○	○	
2149014	プロプラノロール塩酸塩	○	○	
2149018	アモスラロール塩酸塩	○	○	
2149021	ニプラジロール	○	○	
2149025	カルテオロール塩酸塩	○	○	
2149028	チリソロール塩酸塩	○	○	
2149029	セリプロロール塩酸塩	○	○	
2149031	ベタキシノロール塩酸塩	○	○	
2149032	カルベジロール	○	○	
2149036	ベバントロール塩酸塩	○	○	
2123002	アルプレノロール塩酸塩		○	
2123006	ブフェトロール塩酸塩		○	

年度	2010	2012	2014
定義書対応			

薬価基準コード 上7ケタ	成分名	2010	2012	2014
2123004	オクスプレノロール塩酸塩		○	
2123404	ランジオロール塩酸塩	○	○	
2123405	エスモロール塩酸塩	○	○	

6. リスク調整因子の定義: なし

7. 指標の算出方法: 分子÷分母 (単位: パーセント)

8. 測定上の限界・解釈上の注意:

アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

9. 参考値: QIP の過去の指標では 35%前後。

10. 参考資料

「慢性心不全治療ガイドライン(2005 年改訂版)」「急性心不全治療ガイドライン(2006 年改訂版)」日本循環器学会

整理番号: 2007

指標群: 循環器系疾患 薬剤

1. 名称: 心不全患者におけるACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤投与割合

2. 意義: 治療内容をみるプロセス指標。

3. 必要データセット: DPC 様式1 Fファイル もしくは EFファイル

4. 定義の要約

分子:分母のうち、ACE 阻害剤(ACEI)もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤(ARB)が投与された症例数

分母:心不全で入院した症例数

5. 指標の定義・算出方法

分母の定義

I. 解析期間に退院した症例を対象とする。

II. このうち、心不全の診断を受けた症例。

資源を最も投入した傷病名の ICD-10 コードが下記である症例

ICD-10 コード	病名
I50\$	心不全

III. このうち、退院日が入院後 3 日以降である症例。(入院日を 1 とする)。

分子の定義

I. ACEI もしくは ARB が処方されている症例。

Fファイル、もしくは EFファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

薬価基準コード 上7ケタ	成分名	2010	2012	2014
2144001	カプトプリル	○	○	
2144002	エナラプリルマレイン酸塩	○	○	
2144003	アラセプリル	○	○	
2144004	デラプリル塩酸塩	○	○	
2144005	シラザプリル水和物	○	○	
2144006	リシノプリル水和物	○	○	
2144007	ベナゼプリル塩酸塩	○	○	
2144008	イミダプリル塩酸塩	○	○	
2144009	テモカプリル塩酸塩	○	○	
2144010	キナプリル塩酸塩	○	○	
2144011	トランドラプリル	○	○	
2144012	ペリンドプリルエルブミン	○	○	
2149039	ロサルタンカリウム	○	○	
2149040	カンデサルタンジレキセチル	○	○	
2149041	バルサルタン	○	○	
2149042	テルミサルタン	○	○	
2149044	オルメサルタンメドキシミル	○	○	
2149046	イルベサルタン	○	○	
2149048	アジルサルタン	○	○	
2149112	バルサルタン・ヒドロクロロチアジド	○	○	
2149110	ロサルタンカリウム・ヒドロクロロ	○	○	

年度	2010	2012	2014
定義書対応			

薬価基準コード 上7ケタ	成分名	2010	2012	2014
	チアジド			
2149111	カンデサルタンシレキセチル・ ヒドロクロチアジド	○	○	
2149116	カンデサルタンシレキセチル・ アムロジピンベシル酸塩	○	○	
2149113	テルミサルタン・ヒドロクロチア ジド	○	○	
2149117	テルミサルタン・アムロジピンベ シル酸塩	○	○	
2149114	バルサルタン・アムロジピンベ シル酸塩	○	○	
2149115	オルメサルタンメドキシミル・ア ゼルニジピン	○	○	
2149118	イルベサルタン・アムロジピン ベシル酸塩	○	○	

6. リスク調整因子の定義: なし
7. 指標の算出方法: 分子÷分母 (単位: パーセント)
8. 測定上の限界・解釈上の注意:  
アレルギーや左室機能不全ではないなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。
9. 参考値: QIP の過去の指標では 45%前後。
10. 参考資料  
「慢性心不全治療ガイドライン(2005 年改訂版)」「急性心不全治療ガイドライン(2006 年改訂版)」日本循環器学会

整理番号： 2004

指標群： 脳卒中

1. 名称： 脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合
2. 意義： 脳卒中の診断後、できるだけ早期にリハビリを開始することが、機能の早期回復と低下抑制につながる。
3. 必要データセット： DPC 様式1、E/F ファイル
4. 定義の要約  
分子： 分母のうち、脳血管リハビリテーション治療を受けた症例  
分母： 18 歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例

## 5. 指標の定義・算出方法

分母の定義

- I. 解析期間に退院した症例を対象とする
- II. このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め 18 歳以上の症例。
- III. このうち、脳梗塞のため入院した症例。

入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10 コードとして「I63\$」（脳梗塞）が含まれる症例

- IV. このうち、退院時転帰が「4. 転院」「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例は除く

分子の定義

- I. 脳血管疾患等リハビリテーションを受けた症例

レセ電コードに以下のいずれかが含まれる症例

レセ電コード	診療行為名	2010	2012	2014
180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（廃用症候群以外）			
180032410	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（廃用症候群）			
180027710	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（廃用症候群以外）			
180032510	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（廃用症候群）			
180030810	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（廃用症候群以外）			
180032610	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（廃用症候群）			
180033910	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・廃用症候群以外）			
180034010	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・廃用症候群）			
180034110	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・廃用症候群以外）			
180034210	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・廃用症候群）			
180034310	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・廃用症候群以外）			
180034410	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・廃用症候群）			

6. リスク調整因子の定義： なし
7. 指標の算出方法： 分子÷分母（単位： パーセント）

年度	2010	2012	2014
定義書対応			

8. 測定上の限界・解釈上の注意:

適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

9. 参考値:QIP の過去の指標では 60%前後。

10. 参考資料

American Heart Association. Heart disease and stroke statistics - 2008 update. Dallas (TX):

American Heart Association; 2008. 43 p.

「脳卒中治療ガイドライン 2009」日本脳卒中学会

整理番号: KT\_0 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(平均値)

指標群: 抗菌薬の適正使用

1. 名称: 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(平均値) \*\*\*0 (3010 ~ 3110 に適応)

2. 意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標。

3. 必要データセット: DPC 様式1 EF ファイル

4. 定義の要約

分子: 予防的抗菌薬連続投与日数の総計

分母: 「対象手術」に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

5. 指標の定義・算出方法

分母の定義

I. 解析期間に退院した症例を対象とする

II. このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

「対象術式は それぞれの定義書で個々に定義する。」

III. このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例

E/F ファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる

手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例

薬価基準コード7桁			2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	

※参考)薬価コード7桁のうち 上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分子の定義

I. 手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の集計

抗菌薬のリストは 分母条件IIIと同じ。

一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

除外基準

I. 抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

6. リスク調整因子の定義: なし

7. 指標の算出方法: 分子 ÷ 分母 (単位: 日)

8. 測定上の限界・解釈上の注意: 別途記載

9. 参考値: QIP の過去の指標では 3 日前後。

10. 参考資料: 別途記載

整理番号： 3010-3012 頭蓋内血腫除去術における周術期予防的抗菌薬投与  
 指標群： 抗菌薬の適正使用

対象術式（3010-3012 に共通）

様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K164	頭蓋内血腫除去術（開頭して行うもの）			
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術			

整理番号： 3010

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－頭蓋内血腫除去術

算出方法は、「整理番号 KT\_0 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(平均値)」を使用

整理番号： 3011

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－頭蓋内血腫除去術

算出方法は、「整理番号 KT\_1 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(中央値)」を使用

整理番号： 3012

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の順守率－頭蓋内血腫除去術

算出方法は、「整理番号 KT\_2 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(順守率)」を使用

順守率の判定日数は 2 日（清潔手術のため）

測定上の限界・解釈上の注意：

以前の指標では対象とする症例を病名も含め限定したが、本指標からは術式のみ注目し算出している。  
 このため以前に算出した指標値との比較の際は注意が必要である。

整理番号： 3020-3022 胃切除術における周術期予防的抗菌薬投与

指標群： 抗菌薬の適正使用

対象術式（3020-3022 に共通）

様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K654-2	胃局所切除術			
K654-3	腹腔鏡下胃局所切除術			
K6551	胃切除術（単純切除術）			
K6552	胃切除術（悪性腫瘍手術）			
K655-21	腹腔鏡下胃切除術（単純切除術）			
K655-22	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）			
K655-41	噴門側胃切除術（単純切除術）			
K655-42	噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）			
K6571	胃全摘術（単純全摘術）			
K6572	胃全摘術（悪性腫瘍手術）			
K657-21	腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術）			
K657-22	腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術）			

整理番号： 3020

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－胃切除術

算出方法は、「整理番号 KT\_0 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(平均値)」を使用

整理番号： 3021

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－胃切除術

算出方法は、「整理番号 KT\_1 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(中央値)」を使用

整理番号： 3022

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の順守率－胃切除術

算出方法は、「整理番号 KT\_2 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(順守率)」を使用

順守率の判定日数は 4 日

整理番号： 3030-3032 胆のう摘出術における周術期予防的抗菌薬投与

指標群： 抗菌薬の適正使用

対象術式

様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K672	胆嚢摘出術	○	○	
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	○	○	

整理番号： 3030

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－胆のう摘出術

算出方法は、「整理番号 KT\_0 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(平均値)」を使用

整理番号： 3031

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－胆のう摘出術

算出方法は、「整理番号 KT\_1 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(中央値)」を使用

整理番号： 3032

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の順守率－胆のう摘出術

算出方法は、「整理番号 KT\_2 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(順守率)」を使用

順守率の判定日数は 4 日

整理番号： 3040-3042

指標群： 抗菌薬の適正使用

304\* 人工骨頭挿入術及び人工関節置換術における周術期予防的抗菌薬投与

対象術式

各指標を定義する際に対象とする手術は様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K0811	人工骨頭挿入術(肩,股)	○	○	
K0821	人工関節置換術(肩,股,膝)	○	○	

整理番号： 3040

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－人工骨頭挿入術及び人工関節置換術  
算出方法は、「整理番号 KT\_0 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(平均値)」を使用

整理番号： 3041

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－人工骨頭挿入術及び人工関節置換術  
算出方法は、「整理番号 KT\_1 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(中央値)」を使用

整理番号： 3042

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の順守率－人工骨頭挿入術及び人工関節置換術  
算出方法は、「整理番号 KT\_2 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(順守率)」を使用  
順守率の判定日数は 4 日

整理番号： 3050-3052

指標群： 抗菌薬の適正使用

305\* 乳房切除術における周術期予防的抗菌薬投与

対象術式

各指標を定義する際に対象とする手術は様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K4761	乳腺悪性腫瘍手術(単純乳房切除術(乳腺全摘術))	○	○	
K4762	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わない))	○	○	
K4763	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術(腋窩部郭清を伴わない))	○	○	
K4764	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴う))	○	○	
K4765	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術・胸筋切除を併施しない)	○	○	
K4766	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術・胸筋切除を併施する)	○	○	
K4767	乳腺悪性腫瘍手術(拡大乳房切除術(郭清を併施する))	○	○	

整理番号： 3050

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－乳房切除術

算出方法は、「整理番号 KT\_0 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(平均値)」を使用

整理番号： 3051

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－乳房切除術

算出方法は、「整理番号 KT\_1 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(中央値)」を使用

整理番号： 3052

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の順守率－乳房切除術

算出方法は、「整理番号 KT\_2 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(順守率)」を使用

順守率の判定日数は 2 日 (清潔手術のため)

整理番号： 3060-3062

指標群： 抗菌薬の適正使用

306\* 甲状腺手術における周術期予防的抗菌薬投与

対象術式

各指標を定義する際に対象とする手術は様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K4612	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術(片葉のみ)	○	○	
K4612	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術(両葉)	○	○	
K462	バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	○	○	
K4631	甲状腺悪性腫瘍手術(切除)	○	○	
K4632	甲状腺悪性腫瘍手術(全摘及び亜全摘)	○	○	

整理番号： 3060

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－甲状腺手術

算出方法は、「整理番号 KT\_0 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(平均値)」を使用

整理番号： 3061

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－甲状腺手術

算出方法は、「整理番号 KT\_1 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(中央値)」を使用

整理番号： 3062

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の順守率－甲状腺手術

算出方法は、「整理番号 KT\_2 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(順守率)」を使用

順守率の判定日数は 2 日 (清潔手術のため)

整理番号： 3070-3072

指標群： 抗菌薬の適正使用

307\* 前立腺悪性腫瘍手術における周術期予防的抗菌薬投与

対象術式

各指標を定義する際に対象とする手術は様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K843	前立腺悪性腫瘍手術	○	○	
K843-2	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	○	○	
K843-3	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	○	○	

整理番号： 3070

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－前立腺悪性腫瘍手術

算出方法は、「整理番号 KT\_0 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(平均値)」を使用

整理番号： 3071

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－前立腺悪性腫瘍手術

算出方法は、「整理番号 KT\_1 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(中央値)」を使用

整理番号： 3072

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の順守率－前立腺悪性腫瘍手術

算出方法は、「整理番号 KT\_2 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(順守率)」を使用

順守率の判定日数は 4 日

整理番号： 3080-3082

指標群： 抗菌薬の適正使用

308\* 子宮良性疾患手術における周術期予防的抗菌薬投与

対象術式

各指標を定義する際に対象とする手術は様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K871	子宮息肉様筋腫摘出術(腔式)	○	○	
K8721	子宮筋腫摘出(核出)術(腹式)	○	○	
K8722	子宮筋腫摘出(核出)術(腔式)	○	○	
K872-2	腹腔鏡下子宮筋腫摘出(核出)術	○	○	
K872-3	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術	○	○	
K873	子宮鏡下子宮筋腫摘出術	○	○	
K876	子宮腔上部切断術	○	○	
K876-2	腹腔鏡下子宮腔上部切断術	○	○	
K877	子宮全摘術	○	○	
K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	○	○	

整理番号： 3080

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－子宮良性疾患手術

算出方法は、「整理番号 KT\_0 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(平均値)」を使用

整理番号： 3081

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－子宮良性疾患手術

算出方法は、「整理番号 KT\_1 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(中央値)」を使用

整理番号： 3082

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の順守率－子宮良性疾患手術

算出方法は、「整理番号 KT\_2 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(順守率)」を使用

順守率の判定日数は 4 日

整理番号： 3090-3092

指標群： 抗菌薬の適正使用

309\* 子宮悪性腫瘍手術における周術期予防的抗菌薬投与

対象術式

各指標を定義する際に対象とする手術は様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K879	子宮悪性腫瘍手術	○	○	

整理番号： 3090

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－子宮悪性腫瘍手術

算出方法は、「整理番号 KT\_0 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(平均値)」を使用

整理番号： 3091

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－子宮悪性腫瘍手術

算出方法は、「整理番号 KT\_1 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(中央値)」を使用

整理番号： 3092

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の順守率－子宮悪性腫瘍手術

算出方法は、「整理番号 KT\_2 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(順守率)」を使用

順守率の判定日数は 4 日

整理番号： 3100-3102

指標群： 抗菌薬の適正使用

310\* 卵巣良性疾患手術における周術期予防的抗菌薬投与

対象術式

各指標を定義する際に対象とする手術は様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K885	腔式卵巣嚢腫内容排除術	○	○	
K8871	卵巣部分切除術(開腹)	○	○	
K8872	卵巣部分切除術(腹腔鏡)	○	○	
K8881	子宮附属器腫瘍摘出術(両側)(開腹)	○	○	
K8882	子宮附属器腫瘍摘出術(両側)(腹腔鏡)	○	○	
K888-21	卵管全摘除術 卵管腫瘍全摘除術 子宮卵管留血腫手術(両側)(開腹)	○	○	
K888-22	卵管全摘除術 卵管腫瘍全摘除術 子宮卵管留血腫手術(両側)(腹腔鏡)	○	○	

整理番号： 3100

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－卵巣良性疾患手術

算出方法は、「整理番号 KT\_0 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(平均値)」を使用

整理番号： 3101

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－卵巣良性疾患手術

算出方法は、「整理番号 KT\_1 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(中央値)」を使用

整理番号： 3102

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の順守率－卵巣良性疾患手術

算出方法は、「整理番号 KT\_2 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(順守率)」を使用

順守率の判定日数は 4 日

整理番号： 3110-3112

指標群： 抗菌薬の適正使用

311\* 子宮附属器悪性腫瘍手術における周術期予防的抗菌薬投与

対象術式

各指標を定義する際に対象とする手術は様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K889	子宮附属器悪性腫瘍手術(両側)	○	○	

整理番号： 3110

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－子宮附属器悪性腫瘍手術

算出方法は、「整理番号 KT\_0 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(平均値)」を使用

整理番号： 3111

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－子宮附属器悪性腫瘍手術

算出方法は、「整理番号 KT\_1 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(中央値)」を使用

整理番号： 3112

名称： 周術期予防的抗菌薬投与日数の順守率－子宮附属器悪性腫瘍手術

算出方法は、「整理番号 KT\_2 周術期予防的抗菌薬指標共通定義書(順守率)」を使用

順守率の判定日数は 4 日